

八学短大生 砂浜に彫刻 保育に反映

砂浜で彫刻を制作した学生ら



八戸学院短期大学部
幼児保育学科は20日、
八戸市の白浜海岸で砂
浜彫刻実習を行った。

1、2年生111人が
参加し、子どもの笑顔
を思い浮かべながら、
仲間と協力して作品を
作り上げた。

砂は柔らかいため子
どもでも扱いやすく、
失敗しても作り直しが
できるので、創造性な
どを育む最適な素材と

される。実習は、保育
者を目指す学生の今後の
保育活動に役立てて
もらおうと、2006
年度から毎年実施して
いる。

学生は10グループに
分かれて、本年度のテ
ーマ「子どもが喜ぶ〇
〇」に沿った作品を制
作。子どもに人気のキ
ャラクターや動物など
をモチーフに、試行錯
誤しながら思い思いの
作品を完成させた。

2年の三浦優月さん
(19)は「大胆に汚れて
遊べる快感や水の気持
ち良さなど、今回の実
習で感じた気持ちを
忘れず、子どもの気持
ちに寄り添った保育
士になりたい」と話し
た。

(向屋敷明)